

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 森本

山名	比良	山行名	積雪期搬出訓練
訓練場	イン谷口上部公園及び堂満第一ルンゼ		
山行日	2025年1月26日(日)	天候	曇り
参加者	森本、藤村 合計：2名 京都労山遭難対策部スタッフ含めての全参加者：44名		

山行報告

イン谷口上部公園は全く雪が無い状態だったが、ビーコン（雪崩により雪中に埋没した人の捜索救助のために作られたトランシーバの一種）とプローブ（ゾンデ棒、雪崩に埋まった時に雪に突き刺して埋没場所を確定するための棒）の訓練を行う。

ビーコンに電源を入れてなかったと云う事故があったことを踏まえ、先ず全員のセンドモード（発信）とサーチモード（捜索）が正常に機能しているかを確認し、その後に全員がセンドモードになっていることを確認して入山する。ビーコン2つを隠し捜索する訓練では、すぐにサーチモードに切り替えて「エアポートアプローチ方法」を実践した。

次にプローブ訓練を行う。雪崩に遭った際の生存率は、埋没時間が18分で91%、35分経過すると34%まで低下するので、現場での迅速な対応が必須になる。ビーコンでのサーチ地点から雪面に対して垂直にゾンデ棒をさし、「の」の字を書くように刺し見つける。ビーコン不携帯の場合は数名が横に並び50センチ間隔で3点を刺し、50センチ前進を繰り返す。1.5mの雪中から掘り出すのに30分かかるためゾンデ棒を刺す深さは1.5m程度にする。

午後は1時間登り青ガレ手前の雪がある場所で、負傷者の梱包を行う。負傷者の寒さ対策と声掛け（何をしているか、これから何をする）が必要。細引きを結ぶインクノットやエイトノットは習熟しておかなければならない。

今回は習ったことは、2/1 蛇谷ヶ峰等で伝達します。



ヒヤリハット;なし